

あしっ 育成だより 9

立教 182 年 1 月 24 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

特集 ① 本年の育成活動について ② 育成部年間行事予定

《親のことば》

自分を振り返り 自分を育てる

少年会員のうち、「めばえ」クラスの子供は、会員だけでは会活動に参加できません。それよりも、家庭における子供に対する親の考えや行動に俟つところが大きいのであります。

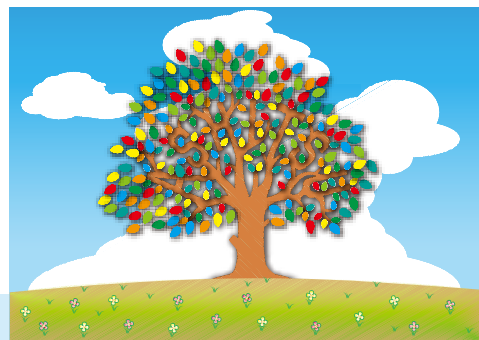
心豊かな親になれば、子供も心豊かに育ちます。ゆえに、教祖のお目に適った道に切れ目をこしらえたくなければ、両親ともそれぞれに自分を振り返り、自分を育てていくところに、めばえ時代の子供の育成は成功し、「ふたば」「あおば」「わかぎ」へと順序に従って、道の心を会得してくれるのであります。

(立教 169 年「婦人会第 88 回総会」における真柱様お言葉より)



①本年の育成活動について

育成プロジェクト 充実の3年目に！



「教会長子弟育成プロジェクト」が発表され、すでに2年が経ち、本年はいよいよ育成体制構築に向けた仕上げの3年目。

教祖 140 年祭には、「旬の声に応えられるようぼく」が今よりもっと増えるようにしていきたい。そのためにまず、「教会長子弟」の丹精・育成に、より一層力を入れねばなりません。芦津のすべての教会が、子弟育成のためにできる「何か」を模索し、実行に移していく「プロジェクト3年目」にしていきたいと思います。

●芦津大教会の育成の現状

「教会長子弟育成プロジェクト」が発表され、3年目を迎えました。ご本部では一昨年夏から昨年春にかけて「後継者講習会」が開催され、多くの道の若者が「陽気ぐらしの実践」を誓い合うなど、子弟育成の動きが加速しました。

芦津大教会でも、昨年夏に「道の後継者のつどい」を開催。また、おぢば管内の学生に対する丹精や「夏休み親子参拝」、各会との連携、『育成手帳』の配布など、新たな動きも始めました。

しかしながら、すべての教会の育成体制が整ったとは、まだまだ言い難い現状です。「後継者講習会」の参加者は 337 名でしたが、教会長子弟の参加者は 400 名中 206 名。わずかに半数を超えただけにとどまり、詰所で開催した「道の後継者の

つどい」も、教会長子弟は 99 名の参加でした。（左下グラフ参照）。仕事や育児などの都合で不参加の方もいましたが、教会から「ぜひとも参加してほしい」という声がかからず、こうした行事があることを知らなかった子弟もいたようです。

教会長子弟を、教会に必要な人材へともれなく育てるために、大教会全体として子弟育成の意識をもっと高めていかねばなりません。

●育てる側の意識改革

一昨年3月の「教会長子弟育成者研修会」の席上、芦津大教会の「3カ年の取り組み」を発表しました。

①全教会の育成体制の構築、整備

②既存の活動への参加促進、参加者増加

③おぢば管内学生の丹精

④重点的に推進する項目

というものです（3頁参照）。

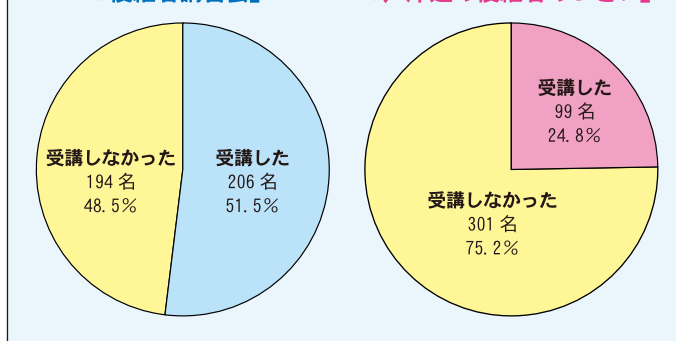
これらの取り組みの中には、教会の現状を考えて「難しい」と思うことも多いでしょう。また現在、子弟がいないという教会もあるでしょう。

しかし、教会の未来は人材育成にこそあります。大切なことは、「人を育てるために、今、何ができるのか」をそれぞれが思案し、実行することではないでしょうか。

教会長子弟（400名）の受講率

「後継者講習会」

「芦津道の後継者のつどい」



少子高齢化の影響を受け、教会につながる人々の年齢は上がり、人数も減りつつあります。その中で、「すべての教会長子弟を道につなげる」という、育成する側の意識がまだまだ薄いのが現状です。

育てる側が「いずれ分かる日が来るだろう…」「親が真剣に通っていれば、その背中を見てついてきてくれるだろう…」といった意識のままだでは、なかなか現状は打破できません。

●既存の行事を活用しよう

大教会では、各部・各会も含めて、多種多様な行事を行っていますが、こうした既存の活動が、人材育成の大きなチャンスであるとの認識が低いのも問題です。ご本部の「天理教基礎講座」や「三日講習会」の参加者数は、他の大教会に比べても少ないのが現状です。

ご本部や大教会、教区での行事は、自教会ではなかなかできない、充実した内容のものが多くあります。また参加人数も多く、いろいろな人とのつながりも芽生えます。お道を信仰する仲間存在は、若者が今後お道を通る上で欠かせないもので、行事に参加するだけで、子弟たちは思いがけない「信仰の原石」を得て教会へ帰ってきます。既存の行事・活動をうまく活用しましょう。

●自分たちでできる何かを

また、自教会でできる何かを模索することも大切です。ある老齢の教会長さん夫婦は、自分の外孫2人を教会に呼んで、4人だけで「教会おとまり会」を開催しました。最初は孫だけでしたが、少しずつ参加者も増えているそうです。日帰りで

教会長子弟育成プロジェクト

— 芦津大教会 3カ年の取り組み —

①全教会の育成体制の構築、整備

教会長子弟育成者研修会（2年目より育成プロジェクト責任者・担当者会議）
教会長子弟育成者研修会（各直属教会 ※2年目より教会長子弟育成者懇談会）
育成手帳の活用 「育成だより」の活用
ミラーシートの活用 「親の心得」の活用
メールやSNSの活用



②既存の活動への参加促進、参加者増加

大教会で開催する各会行事への参加
後継者講習会への参加（立教180年8月～181年3月）
おぢばで開催される各会行事への参加（学生生徒修養会、こどもおぢばがえりなど）
本部における育成・丹精の場の活用（基礎講座、三日講習会、修養科、講習など）



③おぢば管内学生の丹精

管内学校受験の受け入れ態勢整備（入学試験前日研修会など）
管内学生親睦会、新入生歓迎会（4月末～5月初旬）
管内学生保護者交流会（10月）
詰所行事への参加推進（勉強会など）
大教会祭典のおさがり配布（各寮）



④重点的に推進する項目

8月大教会月次祭に、家族そろっての参拝
おぢば管内学校への進学推進
「ファミリーおつとめの集い」の開催
教会おとまり会、教会こども会の実施



開催できる「教会こども会」を開催する教会や、「こどもおぢばがえり」「ドッジボール大会」、上級教会と協力して「ファミリーおつとめの集い」を開催したり、「こども食堂」や「チャリティバザー」を実施している教会もあります。

また、独立して実家から離れた子弟に対して、『さんさい』『大望』などお道の書籍を送ったり、神実様を祀るようにしている教会もあります。

おぢばの学校への進学も、子弟育成の大きな手立てです。高校・大学だけでなく、専修科・本科という選択肢もあり、教会長子弟だけでなく、信者子弟にも進学を勧めている教会もあります。

教会の現状を踏まえて、自分たちにできることを思案し、実行する3年目にしていきたいと思います。

— 立教 182 年 育成部行事予定 —

●未来のようぼくを育てる期間● あしつスプリングフェスタ (春の若年層育成期間)

期間：3月26日～31日

春の学生おぢばがえり (3/28)

わかぎの集い (3/29～31)

少年会総会 (3/31)

春休みに合わせ、ご本部では「春の学生おぢばがえり」が開催され、大教会では「わかぎの集い」に引き続き「少年会総会」と、育成行事が続きます。この春の育成期間を「あしつスプリングフェスタ」と定めて、少年会員が、わかぎ(中学生)、学生会(高校・大学生など)へとスムーズに移行できるよう、育成行事を開催しています。

芦津につながる子供たち同士が親しくなり、お道を信仰する仲間ができる絶好の機会であり、婦人会・青年会・少年会・学生担当委員会が協力して、未来のようぼくとなる子供たちの育成に取り組んでいます。



春の学生おぢばがえり



わかぎのつどい



少年会総会

●各教会の育成体制の構築を目指す● 第3回教会長子弟育成者研修会

日時：3月24日 午後2時

対象：各直属の育成責任者、担当者

この研修会は、各直属教会の育成責任者・担当者を対象に、教会に生まれ育った子供たちをしっかりと道につなげる意識を高め、実行し、将来へ続く育成体制の基盤を作ることを目指します。

また、ご本部から発表されたさまざまな情報を共有し、さらに大教会全体として目指すべきところを提示します。その上で、ねりあいなどを通して、それぞれの教会が実践できる育成活動や行事を模索し、情報を交換します。



●入試の不安を取り除くために●

管内高校入学試験前日研修会

日時：管内高校の入試前日夕方

対象：各高校の受験生とその保護者

学生も保護者も、入試にはどれだけ準備をしても不安が付きまといます。そうした不安を少しでも取り去ることができるよう、受験生とその保護者を対象に、試験前日に、入試で注意すべきことを伝えます。その日は、芦津大教会所属の各高校の先生方にもご協力いただき、面接時の注意



事項や質疑応答、おてふり練習なども行います。

また入試当日は、弁当の準備や学校までの送迎、雨具の貸し出しなども行います。

●親子そろって大教会へ●

夏休みあしつ親子参拝

日時：8月23日（大教会月次祭）

対象：芦津につながる信者子弟すべて

夏休みを利用して、親子・家族がそろって大教会月次祭に参拝する日です。

教会へ参拝することは、私たちお道を通る者にとって大切な角目です。小さい頃から教会に足を運び、参拝することは、教会に親しむことにつながり、「縦の伝道」における大切なポイントとな



ります。当日は、子供向けのおさがりや、直会にも子供向けのメニューを用意しており、賑やかで楽しい時間を過ごします。

●おぢばで学ぶ学生の丹精●

管内学生親睦会

春・新入生歓迎会（4月末～5月初旬）

秋・管内学生親睦会、保護者交流会

おぢばで学ぶ学生たちが一堂に会して親睦を深め、学生会をはじめとした、さまざまな活動に参加するきっかけとします。

春は、主に新しくおぢばで学ぶ学生の歓迎会で、婦人会・青年会・学生会が主体となって内容を企画し、楽しい時間を過ごします。

秋は、学生たちの親睦だけでなく、保護者同士の交流も行い、おぢばで過ごす子供を持つ親同士が情報交換などを行います。



春は新入生歓迎会を兼ねて



秋は保護者交流会を兼ねて



3月3日⑩～9日①

学生生徒修養会 大学の部

学生会

- 場所 本部施設
- 内容 教理の学習（講義・講話）、グループワーク、にをいがけ、ひのきしん、修練（おつとめ勉強）など
※期間中、別席を1席運べる日があります
- 費用 10,000 円
- 受講資格 大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校（4年生以上）に在学している者で、全期間を通して受講できる者



3月28日①

春の学生おぢばがえり

学生会

- 芦津直属隊の受付・解散
26日 15時受付開始 15時30分開会
28日 16時解散予定
- 場所 芦津詰所
- 内容 オリエンテーション、前夜祭・式典参加、直属アワー
- 対象 高校生（新1年生を含む）、大学生、短期大学生、大学院生、専門学生など



3月10日⑩～12日②

学生生徒修養会 高校生卒業コース

学生会

- 場所 本部施設
- 内容 講話、ねりあい、グループワーク、お楽しみ行事 など
- 費用 4,000 円
- 受講資格 平成28年度高校卒業予定者
天理高等学校第Ⅰ部、第Ⅱ部、天理教校学園
高等学校の卒業予定者も受講可能



3月29日⑤～31日⑩

わかぎの集い

少年会

- 29日 12時受付開始 13時開講
- 場所 芦津大教会
- 内容 おつとめ練習、グループタイム、ひのきしん、レクリエーション、会食など
- 対象 芦津につながるわかぎ（中学生）



3月31日⑩

第49回少年会芦津団総会

少年会

- 午前10時開会 受付開始8時30分
- 場所 芦津大教会
- 内容 おつとめ、総会式典、成人門出式、お供え作品展 お楽しみ行事（食事・ゲーム模擬店）

人を育てる「座右の書」

人を導くために参考となる書籍を紹介します



- エディー・ジョーンズとの対話 コーチングとは「信じること」／生島 淳 著
- 文藝春秋 ●1,188 円（税込）

良き指導者の条件は、良き『観察力』を持っていること。選手一人ひとりにとって何が必要なのか、それを見極めるのがコーチングです。

弱かったラグビー日本代表は、なぜ世界の強豪・南アフリカに勝てたのか。エディー・ジョーンズ日本代表前監督は、練習中の選手のコンディションや表情、一人ひとりの目の輝きまでを、常に観察していました。この書では、世界的名将が、組織と個人を育てるための哲学を語ります。

①本年の育成活動について ②育成部年間行事予定

あしっ 育成だより 9

立教182年1月24日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部